

令和 4 年 6 月 21 日現在

機関番号：23503

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19K00057

研究課題名(和文)最新出土資料による陰陽五行思想の総合的研究

研究課題名(英文)A Comprehensive Study on the Thoughts of Yin Yang Wu Xing from Latest Unearthed Documents.

研究代表者

名和 敏光 (NAWA, TOSHIMITSU)

山梨県立大学・国際政策学部・准教授

研究者番号：30291868

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、陰陽五行思想に対し最新出土資料を用い、術数学・医学・経学等の多角的な視点からアプローチし、その検討内容を相互に共有し、総合的に考究することを目的とした。これまで文献中心に行われてきた陰陽五行に対する研究に最新の出土資料を用い、多角的な視点でその思想を解明できたことは、これまでにない重要な成果である。また、海外(主に中国・台湾)での最新の研究成果を取り入れ、それを国内外において口頭・論文にて多数発表することができたことは、特筆すべき成果である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで文献中心に行われてきた陰陽五行に対する研究に最新の出土資料を用い、多角的な視点でその思想を解明できたことは、これまでにない重要な意義を持つ。日中関係が良好でない中、海外(主に中国・台湾)での最新の研究成果を取り入れ、それを国内外において口頭・論文にて多数発表することができたことは、社会的に大きな意味を持つ。

研究成果の概要(英文)：The research aims to comprehensively investigate the Yin-Yang and Five Elements Philosophy from multiple perspectives, such as numerology, medicine, and Chinese classical studies, using the latest excavated materials, and to share the findings with each other (i.e., the primary investigator and co-investigator of the research) to elucidate the overall concept of the philosophy. Studies on the yin-yang and five elements have been conducted mainly as literature investigations; the present research has marked a significant accomplishment in elucidating the philosophy from a multifaceted perspective using the latest excavated materials. It should also be noted that the latest overseas research findings (mainly those of China and Taiwan) were introduced and published domestically and abroad through numerous oral presentations and academic papers.

研究分野：中国哲学

キーワード：陰陽五行 出土資料 術数学 日書 占 曆注 国際研究者交流 中国

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究は、中国古代において重要概念であった「陰陽五行」を主要対象とし、その認識と解釈の思想的展開を、「術数文化」を手掛かりに考察することにより、戦国時代に成立した「陰陽五行」思想がいかなる展開と変遷を経て秦・漢時代に再構築されていったかを問うものである。そしてその検討を通じて漢代における「陰陽五行」思想成立の学術的背景の一部を新たに解明することができると考えた。

2. 研究の目的

占術思想について

代表者がこれまで写真図版に基づき全体を大幅に修正した馬王堆漢墓帛書「陰陽五行甲篇」・「陰陽五行乙篇」の図版、及びその釈文は完成しているため、本研究ではその他の新出土資料を参照し、漢代における「陰陽五行」思想の占術面を検討し明らかにする。

医学思想について

上述した通り老官山漢墓医書の公開が間近であり、馬王堆漢墓帛書「五十二病方」等の出土資料医学書や『黄帝内経』等の伝世文献との対比研究を行うことができ、これにより漢代における医学派・医学説の展開から「陰陽五行」思想を検討し明らかにする。

経学思想について

占術思想や医学思想からアプローチした新たな「陰陽五行」思想が明らかになることにより、経学思想方面においても思想史の再考が必要になるはずである。近年では「陰陽五行」思想研究が盛んであるとは言い難い現状から、出土資料を踏まえた新たな検討が行えると考える。

3. 研究の方法

各年度共に、研究課題検討会の開催、国内・海外の資料調査及び学術交流、訳注・翻訳作業、関連文献の電子テキスト化を柱として研究を推進していく。その際、各担当者が各分野(術数学・医学・経学)に対する専門的な検討を行い、年度ごとに進行状況の確認を兼ねたワークショップを開催すると同時に、海外から研究者を招聘し、最新の研究動向のレクチャーを受ける。最終的には、漢代における「陰陽五行」思想成立の全体を網羅する構成をとる。分野としては、名和敏光は、中国思想史、中国出土文献学、術数学を分担し、武田時昌は、中国思想史、中国科学史、中国医学史を分担し、末永高康は、中国思想史、漢代経学史を分担し、それを代表者である名和が統括することにより研究目的を達成する。

4. 研究成果

本研究は、研究代表者名和敏光(中国思想史、中国出土文献学、術数学)が、代表としてこれまで行ってきた科学研究費基盤(C)「中国方術理論の遡及的考察」(課題番号:25370047、平成25年度～平成27年度)、基盤(C)「中国古代の陰陽五行 占と科学の成立」(課題番号:16K02157、平成28年度～平成30年度)の延長線上にある。本研究では、2019年には「出土資料所見呪語與傳世文獻の諸相」(『中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇論文集』)等、2020年には「堪輿占考」(『前近代東アジアにおける 術数文化』、勉誠出版)、「“諾皋”考」(『出土文献語言研究』第三輯)、2021年には「“皋”與“罽”」(『楚文化與長江中游早期開發國際學術研討會論文集』)、「虎溪山漢簡“X日而憂置城Y歳”考釋」(復旦大学出土文献与古文字研究中心HP)、「虎溪山漢簡《閻昭》(下)綴合」(同上)、「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲編《祭(三)》《宜忌》《諸日》《祭(二)》綴合校釋」(『石川忠久先生星寿記念論文集』、汲古書院)を公刊した。更に、国際学会では2019年に4回、2021年に2回、国際学会において学術報告を行った。

武田時昌(中国思想史、中国科学史、中国医学史)は、術数学・科学史に関する論文を中心に2019年には「中国古代の曆運説 数理と展開」(水上雅晴編『年号と東アジア 改元の思想と文化』八木書店)等、2020年には「福沢諭吉の科学思想」(町泉寿郎編『漢学と医学』(講座「近代日本と漢学」第三巻))、「人日と臘日 年中行事の術数学的考察」(水口幹記編『前近代東アジアにおける 術数文化』(アジア遊学二四四) 勉誠出版)等、2021年には「漢代曆運説と数理」(『国立歴史民俗博物館研究報告』233)等を公刊した。

末永高康(中国思想史、漢代経学史)は漢代経学に関する論文を中心に、2019年には「術数の原理」(兼良公三革説)を中心に(水上雅晴編『年号と東アジア 改元の思想と文化』八木書店)、「初期礼学資料としての『礼記』檀弓篇」(『東洋古典学研究』47)、「礼記注

疏訳注稿(十) 曾子問第七(四)』(『東洋古典学研究』47)、「礼記注疏訳注稿(十一) 曾子問第七(五)』(『東洋古典学研究』48)等、2020年には「『礼記』曾子問篇初探」(『東洋古典学研究』49)、「礼記注疏訳注稿(十二) 曾子問第七(六)』(『東洋古典学研究』49)等、2021年には「五行から四端へ 孟子による子思思想の受容と改変」(『中国古典学の再構成』)、「『儀礼』喪服篇をめぐる一考察」(『東洋古典学研究』51)、「辛酉甲子并革命革今年々」と「和漢辛酉年々」(『東洋古典学研究』41)等を公刊した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 9件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 3
2. 論文標題 “ 諾皋 ” 考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 出土文献語言研究	6. 最初と最後の頁 105-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 “ 皋 ” 與 “ @ ” (修訂版)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 楚文化與長江中游早期開發國際學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 374-378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 第三章 漢代仙譜考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 姜生著『漢帝国の遺産 道教の勃興』	6. 最初と最後の頁 233-333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 中国出土資料紀年考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 水上雅晴編『年号と東アジア 改元の思想と文化』八木書店	6. 最初と最後の頁 121-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 8
2. 論文標題 馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徙》、《天地》、《女發》、《雜占之二》綴合校釋（修訂版）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 出土文獻綜合研究集刊	6. 最初と最後の頁 160-172
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 3
2. 論文標題 王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之七》綴合校釋（修訂版）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上古漢語研究	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 3
2. 論文標題 “諾皋”考（修訂版）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 出土文獻語言研究	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 出土資料所見呪語與傳世文獻的諸相	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇會議論文集	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 古記録所見の勸文と『天地瑞祥志』佚文	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 “從中古到近代写本文化与跨文化交流” 国際学術研討会會議論文集	6. 最初と最後の頁 137-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 上 (修訂版)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 出土文獻與中國經學、古史研究国際学術研討会會議論文集	6. 最初と最後の頁 294-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之二》《上朔》及《祭》(一)綴合校釋	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界漢字学会第七屆年年會會議論文集	6. 最初と最後の頁 109-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 名和敏光	4. 巻 -
2. 論文標題 堪輿占考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 水口幹記編『前近代東アジアにおける 術数文化』(アジア遊学二四四) 勉誠出版	6. 最初と最後の頁 43-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田時昌	4. 巻 -
2. 論文標題 中国古代の暦運説 数理と展開	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 水上雅晴編 『年号と東アジア 改元の思想と文化 』 八木書店	6. 最初と最後の頁 547-572
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田時昌	4. 巻 -
2. 論文標題 日本人の忘れもの	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 京都新聞	6. 最初と最後の頁 読書欄
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田時昌	4. 巻 -
2. 論文標題 福澤諭吉の科学啓蒙	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 町泉寿郎編 『漢学と医学』 (講座「近代日本と漢学」第三巻)	6. 最初と最後の頁 138-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田時昌	4. 巻 -
2. 論文標題 人日と臘日 年中行事の術数学的考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 水口幹記編 『前近代東アジアにおける 術数文化 』 (アジア遊学二四四) 勉誠出版	6. 最初と最後の頁 26-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末永高康	4. 巻 -
2. 論文標題 術数の原理 『兼良公三革説』を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 水上雅晴編 『年号と東アジア 改元の思想と文化』 八木書店	6. 最初と最後の頁 597-617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末永高康	4. 巻 47
2. 論文標題 初期礼学資料としての『礼記』檀弓篇	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 95-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末永高康	4. 巻 47
2. 論文標題 礼記注疏訳注稿(十) 曾子問第七(四)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 111-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末永高康	4. 巻 48
2. 論文標題 礼記注疏訳注稿(十一) 曾子問第七(五)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋古典学研究	6. 最初と最後の頁 45-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計11件（うち招待講演 11件 / うち国際学会 10件）

1. 発表者名 名和敏光
2. 発表標題 出土資料所見呪語與傳世文獻的諸相
3. 学会等名 中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 名和敏光
2. 発表標題 古記録所見の勸文と『天地瑞祥志』佚文
3. 学会等名 “從中古到近代写本文化与跨文化交流” 國際學術研討会（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 名和敏光
2. 発表標題 馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之二》《上朔》及《祭》（一）綴合校釋
3. 学会等名 世界漢字学会第七屆年會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 出土医書研究在日本
3. 学会等名 中国出土医学文献与文物研究國際論壇（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 中世紀的中国科技文化对日本社会的影响
3. 学会等名 “ 從中古到近代写本文化与跨文化交流 ” 國際學術研討会 (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 術数学の形成
3. 学会等名 科学文明学特別講演会 全北大学校科学文明学研究所 特別講演 (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 東医宝鑑と日本近世医学
3. 学会等名 東医宝鑑討論会 (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 中国医籍の伝播と自国化：東アジア近世医療文化比較試論
3. 学会等名 東医宝鑑國際會議 (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 従伝統医学看東亜近代化
3. 学会等名 日韓三国医薬文化交流及古籍研究系列学術講座（第二期）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 緯書研究の新展開
3. 学会等名 「緯書と漢代経書学」国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田時昌
2. 発表標題 科学史家が占う日本鍼灸の未来
3. 学会等名 富山鍼灸学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 三浦国雄・田訪・名和敏光 他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 708
3. 書名 漢帝国の遺産 道教の勃興	

1. 著者名 水口幹記・名和敏光・武田時昌他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 312
3. 書名 前近代東アジアにおける 術数文化	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>山梨県立大学教職員プロフィール http://prof.yamanashi-ken.ac.jp/prof/index.php/2012-01-25-11-21-44/2012-01-25-11-25-56/2012-01-25-11-27-08/63-2012-01-23-08-31-08 京都大学研究教育活動データベース https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pK6tC 広島大学研究者総覧 http://seeds.office.hiroshima-u.ac.jp/profile/ja.df1e5558f7b631f0520e17560c007669.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	末永 高康 (SUENAGA TAKAYASU) (30305106)	広島大学・人間社会科学研究科(文)・教授 (15401)	
研究分担者	武田 時昌 (TAKEDA TOKIMASA) (50179644)	関西医療大学・保健医療学部・客員教授 (34438)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	小倉 聖 (SEI OGURA)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	廣瀬 薫雄 (HIROSE KUNIO)		
研究協力者	程 少軒 (CHENG SHAOXUAN)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 “ 従中古到近代写本文化与跨文化交流 ” 国際学術研討会	開催年 2019年～2019年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関